平成２７年１０月　２日　　第３４号

桃李（とうり）の里

福島市立中野小学校
学校だより
発行：校長　益子　朗

チーム中野小
福島市小学校体育大会
陸上競技大会に出場

熾烈なレースのスタート

試技を前にリラックス

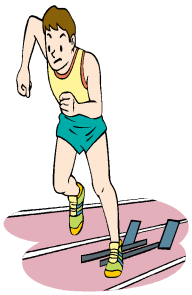
昨日10月１日（木）に、信夫第34回陸上競技大会が行われました。当日は朝から晴れ渡り、絶好の陸上競技日和となりました。午前の部に引き続き、大縄跳びや荒馬踊りなどの縮小版を行ったり、閉会式を開催したりと、予定通りの内容を実施することができました。

全国選手権大会に出場

女子800m第86位

昇降口に模様

４～１年生の応援が届きました



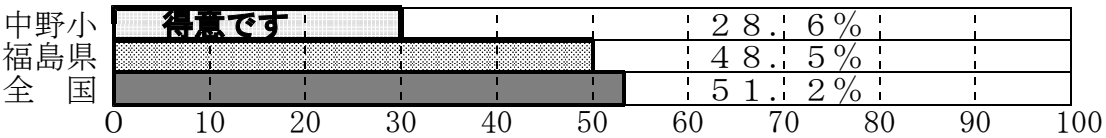
全国学力・学習状況調査の結果分析より

例年通り、今年度も「全国学力・学習状況調査」の結果分析について、可能な範囲でお伝えしたいと思います。主に「児童質問紙」と呼ばれる意識調査のうち、本校が全国や県と比較して特徴的な部分について、数回に分けてご紹介します。

※「全国学力・学習状況調査」は毎年４月に小６・中３を対象に全国一斉に行われているものです。

「児童質問紙」で、中野小が福島県や全国と比較して顕著な違いが見られる項目について

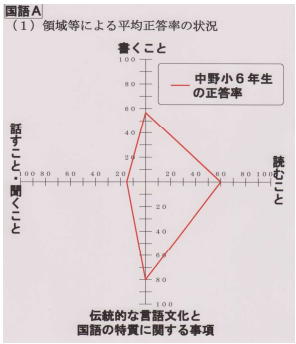
Ｑ７「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」



全国や県に比べて発表が得意であると答えた児童の割合が約半分であり、苦手意識が表れています。実際に学力テストでも「話すこと・聞くこと」が他の領域よりも不振だったことからも裏付けられます。

原因は一概には言えませんが、学年７名中５名が女子、２名が男子というバランスも影響しているのではないでしょうか。女子はお互いへの気遣いからやや遠慮がちになる傾向が見られ、男子は「少数勢力」なので、やはりこちらも控えめになっているように思えます。

決して学級内で話し合いが行われていない訳でもなく、人間関係に深刻な問題がある訳でもないと思います。お互いに気が優しい同士、遠慮があるように見受けられます。中学校に向けてより積極的に話せるよう、機会をつくっていく必要があると思われます。



通刊１５４号（※おわび：一昨日の前号に「第37号・通刊157号」とあったのは、「第33号・通刊153号」の誤りです。）